



潮見っ子

学校だより 7月号《第4号》
芦屋市立潮見小学校
令和7年6月30日(月)



ほぼ毎日更新中

◇学校教育目標◇ 学び合い 支え合う 心豊かな子どもの育成

「人を大切にする力」「自分の考えを持つ力」「自分を表現する力」「チャレンジする力」

共に創る「共創社会」へ

校長 田淵 雅樹

先日の研修会で、「パリの小学校における学びの多様性（空間の多様性）そして芦屋でともに学び合う多文化共創の地域づくり」と題しまして、こくさいひろば芦屋の代表であり、芦屋市教育委員の三宅真理子さんのお話を聞く機会がありました。いろいろな国籍の人がいることが当たり前のパリでの経験で感じたこと、そして、芦屋で実践されていることをお聞きしました。



90分間のお話の中で一貫していたのは、「知らないことを知りたい」「相手に興味を示す」ということでした。それぞれの国の文化は違って当然であり、お互いの文化を知り合うことで関係を築いていく。特に潮見小学校は、外国にルーツのある児童が1割を超え「新しいことを知れるチャンスが身近にいっぱいあり、ラッキーですね。」と言っていました。

お互いのことを知り合うには、時間もかかり、時にはトラブルもあるとは思いますが、そもそもみんな違う考えを持っており、多様性を生かすことで、新たな価値を創り上げる、教育活動のあらゆる場面で、そういう学びを楽しんでほしいと願っています。

そのためにも、まずは大人がそのような社会を共に創っていくことを楽しんでいく、それが子どもたちにとってよい学びになるはずです。引き続き、学校・家庭・地域が一丸となって、潮見っ子を育てていければと思いますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

☆令和7年度通知表「あゆみ」について☆

芦屋市の小学校では、学習状況や生活の様子を「あゆみ」を通して保護者のみなさまや子どもたちへ伝えています。令和6年度より、以下に示すような様式の変更等を行っておりますのでお知らせいたします。

- (1) 「あゆみ」は、学期ごとに1枚(A4サイズ：年間3枚)となります。2学期、3学期の始業式で担任に提出する必要はありません。
- (2) 押印見直しの観点から、令和6年度より市内すべての小学校で、「あゆみ」の『校長』『担任』『保護者』の押印欄が廃止されています。
- (3) 今年度も、1学期の「あゆみ」は、通常のお手紙と同じように連絡袋に入れてお渡しします。以降、「あゆみ」は、各家庭でファイル（クリアファイルなど）等に入れて保存してください。
- (4) 「特別の教科 道徳、外国語活動（3・4年生）、総合的な学習の時間（3年生以上）」及び「所見」は、1・2学期の「あゆみ」には独立した記述欄を設けず、3学期に、独立した記述欄を設けて記述しています。